

財政状況の公表 (平成17年 5月公表 平成16年度下半期の財政状況)

平成16年度の一般会計予算の執行にあたっては、職員数の削減など行財政改革を継続的に進め、歳出の削減につとめました。一方、新たな基本構想や「新しい中野をつくる10か年計画」の策定に先立ち、将来の中野駅周辺のまちづくりのために、サンプラザを取得する株式会社に対し2億円の出資を行ったほか、災害に強いまちづくりをめざし、東京大学教育学部附属中等教育学校西側道路（南台1丁目）の用地を取得しました。

このほか、区ホームページのリニューアル、認知症グループホーム整備費の補助、屋上緑化見本園の整備などにも取り組みました。

各会計の予算執行状況

平成16年度予算の執行状況は、平成17年3月31日現在、次のとおりです。なお、出納整理期間（4月1日～5月31日）の収入済み額と支出済み額は反映されていないため、最終的な決算額は異なります。

各会計の予算執行状況

一般会計及び各特別会計の執行状況は次のとおりです。

各会計の予算執行状況					
会計	予算現額 (億円)	収入済額 (億円)	収入率(%)	支出済額 (億円)	執行率(%)
一般会計	929	877	94.4	826	88.9
用地特別会計	10	0	0.0	10	100.0
国民健康保険事業特別会計	275	240	87.4	250	91.2
老人保健医療特別会計	248	225	90.7	226	91.1
介護保険特別会計	145	131	89.9	129	89.3

一般会計予算の執行状況

3月31日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳			
歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	268	240	89.7
特別区交付金	282	288	101.9
地方消費税交付金・利子割交付金等	77	83	107.0
負担金、使用料及び手数料	29	27	91.5
国・都支出金	147	126	85.5
諸収入	17	14	86.0
特別区債	82	82	99.8
その他	27	17	65.3
歳入合計	929	877	94.4

一般会計予算執行状況の歳出内訳

歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	8	97.6
総務費	89	64	71.2
区民生活費	94	88	93.2
子ども家庭費	133	129	97.1
保健福祉費	307	262	85.2
都市整備費	56	47	83.8
教育費	89	82	92.0
公債費	128	128	99.7
その他	25	18	78.8
歳出合計	929	826	88.8

歳出のうち、総務費とその他の項目の執行率が低くなっているのは、財政調整基金への積み立てなど出納整理期間中に支出するものがあるためです。

補正予算のあらまし (平成16年度下半期)

当初予算の成立後、施策の変更が必要となったり、社会経済状況が変わった場合に、追加や修正をするための予算が補正予算です。

平成16年度下半期には、次のとおり補正を行いました。

10月 (平成16年第3回中野区議会定例会)

一般会計

4億7,042万9千円の追加補正を行いました。その主な内容は、認知症グループホームの整備費補助金、自転車駐車場の管理運営と放置自転車防止指導の経費、財政調整基金への積立金の増額です。

介護保険特別会計

6,269万4千円の追加補正を行いました。介護給付費準備基金への積み立てと都負担金の返還などに対応するためです。

11月 (平成16年第4回中野区議会定例会)

一般会計

392万円の追加補正を行いました。株式会社シティテレビ中野への出資金の増額です。

2・3月 (平成17年第1回中野区議会定例会)

一般会計

30億6,093万2千円の追加補正を行いました。主な内容は生活保護費、障害者に対する在宅支援費、児童の保育委託費、高齢者に対する在宅福祉事業費、乳幼児医療費助成、認証保育所に対する運営費補助などの増額、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計への繰入金、財政調整基金などへの積み立てに対応するものです。

用地特別会計

8,238万9千円の減額補正を行いました。区債元金の利子の減少などに対応するためです。

国民健康保険事業特別会計

1億2,831万円の減額補正を行いました。高額医療費共同事業医療費拠出金の減額などに対応するためです。

老人保健医療特別会計

12億6,035万7千円の追加補正を行いました。医療給付費の増加などに対応するためです。

介護保険特別会計

3億9,780万3千円の追加補正を行いました。保険給付費の増加などに対応するためです。

区債の状況

区債は、将来にわたり区の財産となる土地の買入れや、公共施設の建設などの財源として発行するもので、いわゆる借金です。発行にあたり将来の財政負担が過大とならないよう注意が必要です。3月31日現在、借入現在高は、昨年9月末に比べ、12億円減少し、530億円です。

区債の内容

()内の数値は、区債残高に対する構成比です。

- ・総務債
72億円(13.6%)土地の取得、庁舎の整備などに
- ・民生債
83億円(15.7%) 社会福祉施設の建設などに
- ・土木債
73億円(13.7%) 橋りょう・公園の整備などに
- ・教育債
66億円(12.5%) 小・中学校の耐震補強、社会教育施設の建設などに
- ・減税補てん債
146億円(27.5%) 住民税減税にともなう減収分の補てんに
- ・その他
90億円(17.0%) 区民施設の建設、まちづくりなどに

減税補てん債
恒久的な減税を行うことにより、減る税収の一部を補うため、特例的に発行可能な地方債

一時借入金

区民税などの収入時期と経費の支出時期のずれなどから収支のバランスがとれず、一時的に支払いに必要な資金が不足することがあります。このとき、予定されている収入ですみやかに返済することを条件に、金融機関などから資金を借入れます。これを一時借入金といいます。

平成16年度下半期は、一時借入を行いませんでした。

基金

基金は、年度間の財政調整を図るためのもの、特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。

基金の種類、目的と3月31日の現在高は次のとおりです。昨年9月末に比べ総額4億7,100万円増加しました。その内訳は財政調整基金が4億5,000万円、介護給付費準備基金が2,100万円の増加でした。

基金の種類と目的

1. 年度間の財政調整を図るための基金
財政調整基金 74億4,100万円 (年度間の財源の調整を図るために)
減債基金 17億2,600万円 (特別区債の償還財源を確保するために)

2. 特定の目的を実現するために積み立てる基金
中野刑務所跡地防災公園建設基金 9億6,100万円(中野刑務所跡地に防災公園を建設するために)
社会福祉施設整備基金 4億2,000万円(社会福祉施設の整備・建設のために)
義務教育施設整備基金 5億9,500万円(義務教育施設の整備・建設のために)
区営住宅整備基金 4億3,900万円(区営住宅の整備のために)
災害対策基金 3億500万円(大規模災害時における被災者の救援等のために)
介護給付費準備基金 10億1,900万円(介護保険給付費の次年度以降の財源のために)

3. 特定の事業を行うために運用する基金
平和基金 1億円(平和事業のために)

合計 130億600万円 (昨年9月末は125億3,500万円)

区の財産

土地は、福祉関連施設予定地の購入などで昨年9月末に比べ4,017.05平方メートル増加しました。建物は、都営住宅の移管などにより2,132.06平方メートル増加しました。詳しくは、次のとおりです。

区の財産の状況 (3月31日現在)

- ・ 土地 110万2,721.53平方メートル (昨年9月末109万8,704.48平方メートル)
- ・ 建物 50万2,257.60平方メートル (昨年9月末50万125.54平方メートル)
- ・ 備品 (50万円以上) 2,291点 (昨年9月末2,284点)

区民のみなさんの区税負担

特別区税には、中野区に住んでいる方が納める特別区民税のほか、特別区たばこ税、軽自動車税があります。

3月31日現在、特別区民税課税総額は245億5,325万円です。これを区民1人あたり、1世帯あたりの負担額で見ると次のとおりです。

- ・ 1人あたり 7万9,723円 (昨年3月末8万263円)
- ・ 1世帯あたり 13万9,748円 (昨年3月末14万1,651円)

人口 307,981人、世帯 175,696世帯で算出 (外国人登録者人数・世帯含む)